

4月14日に真夏日目前の29.8度(全国2位)を観測しました。昨年最初の真夏日は4月20日でしたので、暑さの訪れも早そうな気配です。

さて、本校では「制服の移行期間」がありません。生徒たちは気候に合わせて自分で判断し、夏服・冬服の選択をします。(ただし、学校行事等で制服の指定をする場合があります。)この「移行期間なし」の取り組みは全市的なものになっていますが、気がかりなのは、7年生の制服です。女子の夏の制服が5月中旬頃に届く予定だと聞いています。そこで、7年生の制服着用(男・女)について暫定的に次のような措置をします。

暫定期間中の7年生は、体育服を着用しても構いません。服の組み合わせは自由とします。

(例) ①上：夏の体育服 下：冬の体育服 ②上：夏の体育服 下：制服

天気予報の最高気温や最低気温を参考にしながら、状況に応じて自分で組み合わせを考えて欲しいと思います。

本年度の大山中学校の重点目標をお知らせします

学習指導要領に示されている「育成を目指す資質・能力」の三つの柱、「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」について、学校ごとに子どもたちの状況に応じて設定するのが重点目標です。この重点目標の達成に向けて、学年部・担任・教科担当・分掌担当等、全教職員がそれぞれの立場で様々な仕掛けを行います。各家庭におきましては、毎日の会話の推進をぜひお願いします。

知識及び技能の習得

「基礎的・基本的な知識・技能の定着」を目指します

- 各教科における基礎・基本の定着
- 文章構成力や語彙力の向上

思考力、判断力、表現力等の育成

「対話力・表現力の向上」を目指します

- 対話的な学びの充実・授業改善
- 各教科における思考力・判断力・表現力の向上

学びに向かう力、人間性等の涵養

「他者と協働する意欲や、課題解決力の育成」を目指します

- 課題解決学習の充実
- 地域貢献活動の実践
- 地域学習の充実

また、定期的に重点指導項目を設定し、教員が具体的な取組を実践しながら意識付けを行います。

現在、7年生の部活動見学期間中ですが、すでに入部届を提出し部活動に参加している生徒も出てきています。部活動の目的は、部活動を通して、「心・技・体」を鍛えることです。上位大会への出場や各種大会での優勝・入賞を目指すことは、目標であって目的ではありません。本校教職員にも、目的と目標を間違えないように、部活動を通して「心」と「技」と「体」を鍛え、人間形成の一端として部活動を運営するように話をしています。その結果として、目標とした「優勝」や「上位大会への出場」などが達成されることが理想です。ただ、この部活動の運営については、教職員の負担となっているのも事実です。「働き方改革」が進みにくい学校現場にあって、部活動は多忙化の要因の一つにもあげられています。教職員が適度な休息をしっかりと、自分の家庭生活や健康とのバランスがとれるように、また生徒たちにも適切な休息を与えるように規定が設けられています。この点について、保護者の皆様のご理解をお願いします。また、部活動の担当種目の経験がなく、生徒と共に勉強しながらの指導となる者もいます。どうか温かく見守り、ご支援・ご協力をお願いします。※部活動に係る経営方針を学校HPに掲載していますので、ご覧ください